

非小細胞肺癌 アリムタ単剤療法 患者プロトコール

軽度

投与プロトコール 1コース 21日間 4~8回 《開始時基準 PS:0~2 年齢:20~75歳未満》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食	500ml	Day1	—	
プレメディ	5-HT3R拮抗剤+デキサメタゾン+生食100mL		Day1	30分	
①	<b>アリムタ 500mg/m<sup>2</sup></b> 生食 100mL	mg	Day1	10分	
<p>◆ 初回投与7日以上前から、パンプタン1g/回/日を連日経口投与。                      なお、パンプタンの投与を中止又は終了する場合は、アリムタ最終投与日から22日目まで可能な限り投与を行う。</p> <p>◆ 初回投与7日以上前に、フレスミンS(1mg/1A)筋肉内投与。(フレスミンSは、以後9週間毎投与)</p> <p>◆ アリムタの催吐リスクは軽度に分類されるが、嘔気嘔吐がみられるため前投薬の5-HT3受容体拮抗薬は必要。</p>					

佐賀大学医学部附属病院